

## ■大井記念(SⅡ)アラカルト(過去 10 年の分析)

※第 59 回(平成 26 年)より距離 2000mに短縮

※上記に伴い 1、2 着馬に帝王賞の優先出走権が与えられる

※記録は 4 月 14 日時点のもの

### ■重賞実績を重視

◇優勝馬 10 頭中 7 頭が重賞の勝ち馬

※例外 3 頭は上がり馬。

第 53 回優勝 コウエイノホシ(JRAからの移籍初戦を 7 馬身差の圧勝)

第 54 回優勝 ライジングウェーブ(3 連勝中、近 8 走で 5 勝、2 着 3 回)

第 58 回優勝 フォーティファイド(JRA から移籍後、12 戦 2 勝、2 着 3 回、3 着 6 回)

※なお、第 51 回優勝のエイシンチャンプはダート重賞初制覇。

### ■2・3着は、重賞連対実績馬から

◇20 頭中 14 頭に重賞連対実績があった。

※例外は以下の 6 頭。

第 55 回 3 着 グラストップガン(重賞初挑戦だが 12 勝を挙げていた)

第 56 回 3 着 タートルベイ(2600・2300m戦で連勝経験があった)

第 57 回 2 着 ピサノエミレーツ(芝 2400m戦で 2 勝を挙げていた)

3 着 ナムラブレット(重賞初挑戦)

第 58 回 2 着 ビービーガザリアス(前年の当レースで 3 番人気。TCK コース 8 勝だった)

第 60 回 3 着 スコベルタ(13 戦 7 勝、2 着 2 回、3 着 2 回の好成績だった)

### ■3着以内の馬には4勝以上が必要

※全 30 頭中全 30 頭が該当。

### ■距離 2000m 以上の実績が重要

◇優勝馬 10 頭中 8 頭に 2000m 以上で 1 着の実績

※例外 2 頭のうち、第 55 回優勝馬セレンには東京記念(2400m)、金盃(2000m)で連対実績があった。

◇3 着内の 30 頭中、半数以上の 19 頭が 2000m 以上で 1 着の実績

## ■5歳・6歳馬が8勝

- ◇4歳馬 0勝、2着2回、3着2回。3着内率 13.3%
- ◇5歳馬 3勝、2着1回、3着2回。3着内率 20.0%
- ◇6歳馬 5勝、2着4回、3着3回。3着内率 40.0%
- ◇7歳馬 0勝、2着2回、3着2回。3着内率 13.3%
- ◇8歳馬 1勝、2着1回、3着1回。3着内率 10.0%
- ◇9歳馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率 3.3%

※高齢馬の健闘が目立つ他の重賞とは異なり、5・6歳馬が活躍。

※7歳馬が優勝すれば49年ぶり2度目。

## ■優勝は1・2番人気馬が6勝

- ◇1番人気馬 5勝、2着1回、3着0回。3着内率 60.0%
- ◇2番人気馬 1勝、2着2回、3着0回。3着内率 30.0%
- ◇3番人気馬 0勝、2着3回、3着2回。3着内率 50.0%

※とくに4番人気馬が3勝、2着1回、3着1回と健闘。

※また3着に限ると、4番人気以下の馬が8回で要注意。

## ■優勝馬と帝王賞との関連

- ◇大井記念1着馬は⑧、⑫、③、不、⑤、不、⑥、⑧、不、不着で、この2レースを連勝した馬はなし。

## ■外国産馬は1勝

※外国産馬は4頭が出走して1勝。優勝は第51回エイシンチャンプ。

## ■牝馬の優勝なし

※牝馬は9頭が出走して3着1回。

- ◇第52回3着 アウスレーゼ(マイルグランプリ2着)

## ■船橋所属馬が6勝

- ◇TCK所属馬 3勝、2着7回、3着5回。3着内率 50.0%
- ◇船橋所属馬 6勝、2着2回、3着3回。3着内率 36.7%
- ◇川崎所属馬 1勝、2着0回、3着0回。3着内率 3.3%
- ◇浦和所属馬 0勝、2着1回、3着2回。3着内率 10.0%

※TCK所属馬のワンツースリーは2度ある(第51回、58回)。

■ 優勝馬で前走1着だった馬は4頭

※優勝馬の前走着順は③⑧①①⑥⑧③①①③着で、4頭が前走から連勝。

※例外6頭のうち5頭が前2走のどちらかで掲示板(5着)を確保していた。

※前2走とも掲示板外からの優勝は第56回マズルブラストのみ。

■ 逃げた馬は3着が2回

※第53回トップサバトン、第59回トーセンアドミラルが逃げて3着。

※ただし優勝馬は4角3番手以内が8頭。

■ 川島正行(故)調教師が2勝

※川島正行調教師は第52回、第56回で優勝。(いずれもマズルブラスト)

■ ⑧番以内で9勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	2	0	2	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0
2着	0	2	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	1
3着	0	0	0	2	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1	1	1

## ■大井記念(SⅡ)アラカルト(過去全 60 回の分析)

※第 1 回から第 17 回までは 2400m で実施

※第 23 回から第 39 回までは 2500m で実施

※第 47 回まではハンデ戦で実施

※第 59 回(平成 26 年)より距離 2000m に短縮

※上記に伴い 1、2 着馬に帝王賞の優先出走権が与えられる

※記録は 4 月 14 日時点のもの

### ■ほぼ3回に1回は1番人気馬が優勝

◇1番人気馬 21勝、2着7回、3着8回。3着内率 60.0%

◇2番人気馬 14勝、2着9回、3着5回。3着内率 46.7%

◇3番人気馬 7勝、2着12回、3着9回。3着内率 46.7%

※4～9番人気馬は 16勝。

※10番人気以下の馬は 2勝。

### ■70%の確率で3番人気以内の馬が優勝

◇60回中 42回は 3番人気以内の馬による優勝(70.0%)

◇60回中 20回は 3番人気以内の馬によるワンツー(33.3%)

◇60回中 7回が 3番人気以内の馬によるワンツースリー(11.7%)

### ■連覇した馬は過去に2頭

◇テツノカチドキ(第 30 回・31 回)

◇ハシルショウゲン(第 37 回・38 回)

### ■優勝馬の8割を4・5歳馬が占める

◇4歳馬 19勝

◇5歳馬 29勝

◇6歳馬 9勝

◇7歳馬 1勝

◇8歳馬 1勝

◇9歳馬 1勝

※7歳馬以上の優勝は第 12 回アオイライコー(7歳)、第 56 回マズルブラスト(9歳)、第 58 回フォーティファイド(8歳)

■外国産馬は2勝

◇第46回 ドラールアラビアン

◇第51回 エイシンチャンプ

■牝馬も2勝

◇第41回 パルブライト

◇第48回 ネームヴァリュー

※牝馬が優勝すれば13年ぶり3度目。

■現役では的場文男騎手が8勝

※高橋三郎騎手に並ぶ最多勝利タイ。

※的場文男騎手が勝てば、史上初(廃止競走も含む)の同一TCK重賞9勝。

※なお、JRAの同一重賞最多勝利は、保田隆芳騎手のカブトヤマ記念8勝、  
武豊騎手の阪神大賞典8勝の記録がある。

■4人の調教師が3勝

※栗田金吾、岡部盛雄、赤間清松、川島正行調教師が3勝で最多勝利タイ。

■③番、④番の9勝が最多勝利

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	5	4	9	9	3	4	6	6	1	4	2	3	1	2	0	1
2着	6	9	7	3	3	3	10	5	3	3	4	0	2	1	0	1
3着	4	5	10	5	8	4	2	4	6	6	0	0	2	1	2	1

■13勝の④枠が他を圧倒

枠番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	5	9	7	13	4	7	7	8
2着	8	9	8	7	7	5	8	8
3着	5	10	12	6	8	3	5	11